

【特別寄稿】 医療科学類第 10 期生（平成 27 年度）学位記授与式 / 学類長式辞

医療科学類長 二宮 治彦

本日、筑波大学医学群医療科学類を卒業していく三十七名の皆さん、卒業おめでとうございます。保護者の方々にも、心よりお祝いを申しあげます。

今日、皆さんは、四年間学んだここ筑波大学を巣立ち、明日からは社会人としての第一歩を踏み出します。四年前、皆さんは医療科学に関する仕事に生涯携わっていきたいという志を胸に、この医療科学類に入学してきました。四年の間には、自分が思い描いていた学生生活との違いに戸惑ったこともあったかもしれません。修得しなくてはならない知識・技術の多さの前に、呆然としたこともあったかもしれません。しかし、皆さんはその一つ一つを乗り越え、今日、卒業の日を迎えました。その頑張りや心からの敬意と祝意を表したいと思います。

四月からは社会人です。高度で専門的な知識と技術を身に付けた医療人として、それぞれの場所でしっかりと役割を果たし成長していきけるものと期待しています。進学してさらに研究を続ける皆さんにも大いに期待しています。

この四年間、皆さんは主に医学群の学生や医学医療系の教員に囲まれ、専門性の高い勉学をし、似た環境の仲間との交流をしてきたことでしょう。入学時の自分の知識や経験と今の自分のそれを比較してみてください。つらかった試験勉強や実習、研究を通じて獲得した知識や技能の専門性の高さに気づくはずですよ。もちろん、これらが今後の皆

さんの職業人や研究者としての基盤となることを確信しています。一方で、多くの若者がそうであるように皆さんには知識や経験においてまだ不足していることが多くあります。筑波大学は総合大学であるので、他学類の学生との交流や、他学類の講義などを履修して見識を深めたいと夢を見て入学された学生さんも多かったかもしれません。実際にはどうだったでしょう。時間的な制約もあり、いわゆる教養や見識を十分に広げられなかったかもしれません。卒業後、医療人として働き始める方々には高度に専門性を持った医療人を目指してほしいと同時に、自らの視野を広げる努力も積極的に行ってほしいと思います。一人一人に与えられた時間は公平ですが限られています。意識して視野を広げて自分を磨き続けてください。また、同時に個人としての幸福も追求しなくてはならない、人生において、きわめて大事な時期に皆さんはいます。忙しいですが頑張ってください。医療科学類では昨年度から、社会ですすでに活躍している臨床検査技師の皆さんの卒後教育にもなる教育プログラムを始めています。社会人としての生活に慣れ余裕ができたなら、皆さんが卒業したこの医療科学類を振り返ってみてください。そのときも、また興味を持っていただけるような社会に対して開かれている学類であるように私どもも成長できているといいなと思っています。

大学院へ進学して研究を続ける諸君、みなさん自身の恵まれた環境への感謝を忘れず、研究第一

にしばらくは邁進してください。今後は、皆さんの努力だけでは必ずしも望んだ結果はついてこないかもしれませんが、真理を追究し社会に貢献することを目標に精進を続けてください。

医療、あるいは、科学の世界は驚くべきスピードで進化し続けています。常に新しい発見があり、医療機器・技術もよりよいものへ向けた創意工夫が続けられています。これから社会に出て働いていると、恐らく自分の知識の足りなさに愕然とし、仕事を続けることへの不安すら感じる瞬間がくると思います。その時は、どうかまた学びにもどってきてください。

人生は、ある意味で生涯尽きることのない学びの連続です。とりわけ、「高度医療専門職」と呼ばれる分野においては、生涯、学び続け最新の知識を求め続けることが必須です。皆さんのこれまでの学びが仕事を通じて社会に還元されることは、社会が皆さんに期待している好循環であり、「高度医療専門職」たる皆さんの誇るべき姿ではないでしょうか。

今日筑波大学医療科学類を卒業する皆さんが、今後、実り多き人生を歩むこと、また、豊かな社会の建設に大いに貢献することを確信し、卒業する皆さんへのお祝いの言葉といたします。



筑波医療科学 第12巻 第1号	
編集	筑波医療科学 編集委員会 磯辺智範 二宮治彦
発行所	筑波大学 医学群 医療科学類 〒305-8575 茨城県つくば市天王台1-1-1
発行日	2016年3月30日